

## 審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針について

建設緑政局

評価実施事業	社会資本総合整備計画「川崎市内における防災安全を促進する交通環境の整備（防災・安全）」【事後評価】
所管課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課
<b>審 議 結 果</b>	
<p>●評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、事後評価の内容については、透明性、客観性及び公正さが確保されており妥当と判断</p> <p>【附帯意見】</p> <p>●交通事故の防止等を目的とした道路交通環境の整備は、市民生活の安全の向上等と関わりが深い重要な事業であるため、一層効率的・効果的な手法を講じ、進捗率を上げていくとともに、自転車通行環境整備については、個々の自転車事故の要因や状況を可能な限り詳細に把握・分析し、対策を検討した上で取組を進めていく必要がある。</p> <p>●評価指標とそれぞれの事業の進捗状況との関連性がわかりづらいものがあるため、よりの確に事業の成果を測られるよう指標の設定を行っていく必要がある。また、評価指標「川崎市内の年間平均人身事故件数の削減」に関しては、市内全体だけではなく、本事業の整備箇所における実績値を把握するなど、よりの確な事業効果の把握に努めること必要がある。</p> <p>●事業に対する市民へのWEBアンケートの結果については、性別や年齢ごとにクロス集計を行うなど、事業の成果について詳細な分析を行う必要がある。</p> <p>●市民が事業の進捗を容易に把握できるよう、本事業全体の進捗率を示すだけではなく、要素事業ごとに整備した道路延長距離や修繕した道路施設数を示すなど、わかりやすく、必要な情報を示していくことを望む。</p>	
<b>審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針</b>	
<p>●今後も引き続き「川崎市第2次道路整備プログラム」に基づき、整備効果の早期発現に向け、土地収用制度等を活用し、効率的・効果的な道路整備を進めてまいります。また、自転車通行環境につきましては、安全性と利便性の両観点から整備を進めるため、自転車事故の要因や自転車利用の状況を可能な限り分析し、効果的な整備に取り組んでまいります。</p> <p>●評価指標の一つとして道路施設の健全度率の向上を設定していますが、今後は、市民に対してより分かりやすく効果を示すことができるような指標の設定を検討してまいります。また、事故件数については、関連するデータを活用するなど、整備箇所における事業効果が的確に把握できるよう努めてまいります。</p> <p>●市民アンケートにつきましては、今後は性別や年齢ごとのクロス集計を行うなど、よりの確な状況の分析ができるよう工夫してまいります。</p> <p>●整備計画全体の進捗率は計画事業費に対する執行額で算出していますが、市民が事業効果を容易に把握できるよう、今後は整備延長や、修繕完了施設数等の具体的な数値を併せて示すことを検討してまいります。</p>	